

整理番号
204

事務事業評価表
令和6年度実施事業

理事	課長	係長	担当者

事業名	都市計画審議会等運営事業				担当課	都市整備課
業務名	-				担当係	都市計画係
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度
施策項目	1	土地利用・市街地整備			事業区分	直営
主な取組	1	将来に向けた土地利用方針の明確化			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	8	4	1	都市計画総務費	

目的と方針【PLAN】
市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。

事業概要【PLAN】
伊達市都市計画審議会は、本市の都市計画決定、変更にあたって、市長の諮問を受け、審議し答申する機関です。都市計画に関する重要事項等を審査することから、学識経験者等の第三者や市民からの公募による委員を委嘱し、調査及び審議を行います。

対象【PLAN】	都市計画マスタープラン	意図【PLAN】	市の将来都市像の実現に向けたまちづくりの推進
-----------------	-------------	-----------------	------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市の持続的発展に向け、都市計画マスタープランに基づき計画的な土地利用の推進を図るため、都市計画審議会を定期的に開催する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	400	350	350			
	一般財源	千円	0	0	0			
事業費合計		千円	400	350	350			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
審議会開催回数 (7月・11月・2月の開催が基本)	回	実績値が目標値以上となること	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	都市計画法第77条の2及び伊達市都市計画審議会条例に基づき設置し、市の諮問に応じ、都市計画に関する事項を調査審議する重要な会議である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	学識経験者等の第三者や市民からの公募にて委員を委嘱しており、「市の将来都市像の実現に向けたまちづくり」の目標達成には有効な機関である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	年3回以内の開催に審議案件を集約し、会議時間の短縮を図るため事前に審議内容を送付し、質問事項を事前提出していただくことにより、スムーズな会議進行に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	公募による市民を委員に加えていることから、市民の直接の声を聴くことができ有効だと考える。また、今後は女性委員を増やし、女性ならではの目線でのまちづくりについての意見を取り入れられればと考える。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
206

事務事業評価表
令和6年度実施事業

理事	課長	係長	担当者

事業名	都市計画諸費（再掲）				担当課	都市整備課
業務名	都市計画関係団体参画事業				担当係	都市計画係
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	土地利用・市街地整備			事業区分	直営
主な取組	2	計画的な土地利用の推進			—	—
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	8	4	1	都市計画総務費	

目的と方針【PLAN】
市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。

事業概要【PLAN】
各協議会に参画し、情報交換により諸業務の参考とします。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	一体的な調和のとれた都市づくりを推進し、持続可能な土地利用を行う。
-----------------	----	-----------------	-----------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
土地利用・市街地整備の満足度の確認手段の一つとして、市民の意識をアンケート調査で把握する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	109	109	109			
	一般財源	千円	0	0	0			
	事業費合計	千円	109	109	109			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
土地利用・市街地整備の状況の満足度	%	実績値が目標値以上となること	目標値	17.2	20.0	23.0	26.0	30.0
			実績値	17.2	20.0			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	都市計画マスタープランに基づく土地利用の誘導及び市街地整備に対する市民の満足度をアンケート調査で把握し、事業に反映させて市民ニーズや社会的需要を考慮するため、必要性は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	土地利用・市街地整備の満足度を把握するため、アンケート調査を通して、市民の直接の声を聴くことは、有効だと考える。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会においては、リモート会議を活用して交通費等の経費削減に努めた。 アンケート調査においては、他部署での調査結果を利用して経費削減に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	土地利用や市街地整備は民間事業者による開発が多いため、市の特性・課題を十分に踏まえた上で、社会環境の変化に柔軟に対応できるよう、土地利用関連計画の見直しを行い、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進める必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
207

事務事業評価表
令和6年度実施事業

理事	課長	係長	担当者

事業名	土地利用規制対策事業				担当課	都市整備課
業務名	-				担当係	都市計画係
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度
施策項目	1	土地利用・市街地整備			事業区分	補助
主な取組	2	計画的な土地利用の推進			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	8	土地利用規制対策費	

目的と方針【PLAN】
市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。

事業概要【PLAN】
適正な土地利用を推進し、無秩序な土地取引の防止を図ります。（国土利用計画法に基づく事務）

対象【PLAN】	市内の土地利用者	意図【PLAN】	適正な土地利用、無秩序な土地利用の防止
-----------------	----------	-----------------	---------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
国土利用計画法の規定に基づく適正な事務処理を行う。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	100	132	153			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	4	3	3			
	事業費合計	千円	104	135	156			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
国土利用計画法に基づく届出の進達件数	件	目標値が実績値以上となること	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	7	18			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	国土利用法の規定に基づく事務処理のため必要性は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	無秩序な土地取引の防止を図るため有効だと考える。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	県への進達業務のため、速やかな事務処理が要求される。(受付後10日以内)

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	適正な土地利用が図られ、無秩序な土地利用を防止できる。
--------	----	-------------------------	-----------------------------

整理番号
208

事務事業評価表
令和6年度実施事業

理事	課長	係長	担当者

事業名	宅地耐震化調査事業				担当課	都市整備課
業務名	-				担当係	開発建築指導係
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			計画期間	令和6年度～令和7年度
施策項目	1	土地利用・市街地整備			事業区分	全部委託
主な取組	2	計画的な土地利用の推進			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	8	4	1	都市計画総務費	

目的と方針【PLAN】
市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。

事業概要【PLAN】
住民の宅地災害に対する関心を高め、早期の変状把握、早期対応等による被害の防止・軽減を図ります。

対象【PLAN】	優先度の高い6箇所の簡易地盤調査により危険度判定を行い、早期に第二次スクリーニングを行べき箇所を判別し実施する。	意図【PLAN】	令和7年度までに第二次スクリーニングを完了させる。
-----------------	--	-----------------	---------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
令和7年度までに優先度の高い6箇所の簡易地盤調査による危険度判定を行い、第二次スクリーニングを完了させる。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	2,090	1,238	1,729	780		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	2,090	2,476	3,458	4,770		
	事業費合計	千円	4,180	3,714	5,187	5,550		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
第二次スクリーニング計画にて優先度評価の調査箇所	箇所	目標値が実績値以上となること	目標値	1	4	2	-	-
			実績値	1	4			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	平成7年の阪神・淡路大震災、平成16年の新潟県中越沖地震などから、大規模な盛土造成地の安全性の確認が必要とされている。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	盛土造成地の被害では、人的被害や財産被害、生活再建の遅れ、公共施設の機能喪失等が生じるとともに、復旧対策には多額の費用と労力を要していることから、事前の調査・対策を進めることにより、被害等を軽減し、復旧にかかるコストを低減できる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	第二次スクリーニング計画で評価した優先度の高いAランク6箇所の簡易地盤調査を実施することにより、経過観察と第二次スクリーニングの実施箇所の判定を二段階で行う事によって調査費用の軽減を図ることができた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	第二次スクリーニングにより危険となった場合、滑落防止工事による補強が必要となる。今後市民説明、公表、工事の実施主体など、費用負担（国、市補助率）等が課題となる。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
210

事務事業評価表
令和6年度実施事業

理事	課長	係長	担当者

事業名	都市計画諸費（再掲）				担当課	都市整備課
業務名	都市計画諸費				担当係	都市計画係
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	土地利用・市街地整備			事業区分	直営
主な取組	3	地域特性に応じた魅力ある市街地の形成			—	—
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	8	4	1	都市計画総務費	

目的と方針【PLAN】
市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。

事業概要【PLAN】
都市計画事業全般の業務執行に必要な経費(研修会等参加旅費、消耗品費)

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	一体的な調和のとれた都市づくりを推進し、持続可能な土地利用を行う。
-----------------	----	-----------------	-----------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
土地利用・市街地整備の満足度の確認手段の一つとして、市民の意識をアンケート調査で把握する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	667	538	538	661		
	一般財源	千円	0	0	0	0		
事業費合計		千円	667	538	538	661		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
土地利用・市街地整備の状況の満足度	%	実績値が目標値以上となること	目標値	17.2	20.0	23.0	26.0	30.0
			実績値	17.2	20.0			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	都市計画マスタープランに基づく土地利用の誘導及び市街地整備に対する市民の満足度をアンケート調査で把握し、事業に反映させて市民ニーズや社会的需要を考慮するため、必要性は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	土地利用・市街地整備の満足度を把握するため、アンケート調査を通して、市民の直接の声を聴くことは、有効だと考える。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会においては、リモート会議を活用して交通費等の経費削減に努めた。 アンケート調査においては、他部署での調査結果を利用して経費削減に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	土地利用や市街地整備は民間事業者による開発が多いため、市の特性・課題を十分に踏まえた上で、社会環境の変化に柔軟に対応できるよう、土地利用関連計画の見直しを行い、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進める必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
211

事務事業評価表
令和6年度実施事業

理事	課長	係長	担当者

事業名	公園管理事業（再掲）				担当課	都市整備課
業務名	駅前公園管理業務				担当係	公園緑地係
基本目標	5	便利で快適に暮らせるまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	土地利用・市街地整備			事業区分	一部委託
主な取組	3	地域特性に応じた魅力ある市街地の形成			—	—
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	8	4	3	公園費	

目的と方針【PLAN】
市の持続的発展に向け、市の特性と課題を踏まえた計画的な土地利用を推進するとともに、地域特性に応じた魅力ある市街地の形成を進めます。

事業概要【PLAN】
駅前公園施設の点検、修繕等により適正に維持管理します。

対象【PLAN】	市民・公園利用者	意図【PLAN】	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性向上 ・安全で快適な施設の提供
-----------------	----------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市民などの公園利用者が、安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理を行うこと。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	8,700	0	0		
	その他	千円	561	561	2,561	2,908		
	一般財源	千円	25,495	22,755	17,634	17,353		
事業費合計		千円	26,056	32,016	20,195	20,261		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
公園緑地の整備状況の満足度	%	実績値が目標値以上となること	目標値	28.8	29.0	30.0	31.0	32.0
			実績値	28.8	30.4			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか 	利用者の利便性向上や、市民交流の憩いの場として、安全で快適に利用できるよう、必要性の高い維持管理事業である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか 	地域コミュニティ形成、健康づくりの拠点として寄与するとともに、休憩所、トイレ等便益施設としての機能を果たしており、今後も一定の社会貢献度が期待される。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	除草作業や日常の簡易的な点検等について、地元住民の協力を得ながら、費用を抑えて維持管理を行うことができた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	日常清掃や除草作業を行うとともに、故障箇所の修繕や老朽化した遊具の撤去を行い、適正な維持管理を図ることができた。 遊具の老朽化が著しいため、明確な優先順位のもと順次撤去作業を進めていく必要がある。
--------	----	-------------------------	---